

平成28年6月伊勢原市教育委員会定例会議事録

平成28年6月28日（火）午前9時30分から伊勢原市教育委員会定例会を伊勢原市立図書館会議室に招集した。

1 出席した委員は次のとおり。

委員長	渡 辺 正 美
委員長職務代理者	永 井 武 義
委 員	重 田 恵美子
委 員	菅 原 順 子
教育長	鈴 木 教 之

2 会議説明のための出席者は次のとおり。

教育部長	谷 亀 博 久
学校教育担当部長	大 高 敏 夫
歴史文化推進担当部長	山 口 譲
教育総務課長	古清水 千多歌
学校教育課長	守 屋 康 弘
指導室長	石 渡 誠 一
社会教育課長	小 谷 裕 二
文化財課長	立 花 実
スポーツ課長	小 卷 宏 幸
教育センター所長	本 多 由佳里
図書館・子ども科学館長	麻 生 ひろ美

3 会議書記は次のとおり。

教育総務課 総務係長	瀬 尾 哲 也
------------	---------

4 議事日程

日程第1 前回議事録の承認
日程第2 教育委員長報告
日程第3 教育長報告

----- ○ -----
午前9時30分 開会

○委員長【渡辺正美】 ただいまから教育委員会議を開催いたします。

----- ○ -----

日程第1 前回議事録の承認

- 委員長【渡辺正美】 日程第1「前回議事録の承認」をお願いいたします。
○委員全員 異議無く承認し、署名する。

----- ○ -----

日程第2 教育委員長報告

- 委員長【渡辺正美】 日程第2「教育委員長報告」をいたします。お手元の資料1をご覧ください。

平成28年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会の総会及び研修会が、平成28年5月27日金曜日の午後に、JR八王子駅の近くのオリンパスホール八王子で開催されました。教育委員4名と、教育総務課の瀬尾係長で参加しました。研修視察の一環として、会場近くの高尾山に行き、薬王院の見学やケーブルカーに乗るなどして大山との違いを見てきました。ケーブルカーは、やはり伊勢原の新しい車両の方が素敵だなと再認識をしました。

総会の開会前に特別講演ということで、八王子の地域に伝承されている八王子車人形という人形芝居の上演がありました。5名の方で小さな車にお尻で座り、足で動かしながら人形芝居をするといった郷土民芸でした。

総会には、出席名簿で数えますと1,200名を超える関東甲信越静岡の教育委員の名前が連なっていました。開会式では、挨拶として主催者側の連合会長や東京都連の会長、来賓として八王子の市長や義家文部科学副大臣、東京都の教育長が挨拶をされました。話の中では、熊本地震に対する支援の必要性、大切さ、そして現状の教育課題であるいじめや格差の課題等々への対応の必要性を話されました。また、八王子市長からは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの期待と夢、環境整備ということにも取り組んでいくといった話もされていました。

議事は例年同様、前年度の事業報告と決算、本年度の事業計画と予算、新役員の選出等々が行われました。なお、来年度の総会の会場は神奈川県の大和市で開かれる予定です。

研修会については、まず文部科学省初等中等局の佐藤審議官から、資料に基づき文部科学省の取組や今後の学校教育の課題の説明がありました。本日用意した資料は、資料の中の教育再生実行会議の部分ですが、実際の資料は結構厚いものでした。教育委員会にも1冊あると思いますので、目を通していただければと思います。説明の中で、教職員の仕事量等々、先生方が忙しいと言われているけれど実態はどうかということ、教職員の業務改善に関する実態調査を実施していく方向であるといった話もありました。以上が研修会の第1部です。

研修会の第2部では、教育講演会ということで、新たに設置されましたスポーツ庁の長官である鈴木大地氏から「スポーツの価値を高めるために～新しいスポ

ーツ行政のかたち～」と題した講演がありました。

スポーツ庁が去年の12月に発足し、スポーツ行政の政策や健康の在り方、競技力等々、7つの課で構成されていることや、取組の方向性として例えばスポーツによる健康増進、国際競技力向上、学校等での子どものスポーツ機会の充実等、いくつかのミッションをスポーツ庁として持っているといった説明がありました。また、日本のスポーツや運動の現状や話題についても資料を使って話をさせていただきました。以上が記念講演の内容でした。総会・研修会の報告は以上です。

ご意見、ご質問などがございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。



日程第3 教育長報告

○委員長【渡辺正美】 それでは日程第3「教育長報告」をお願いいたします。

○教育長【鈴木教之】 2つございます。まず1点目が、伊勢原市日本遺産協議会の設置についてです。資料2になります。

日本遺産の認定を受けたことに伴いまして、さまざまな取組を行っていくわけですが、その実施主体が日本遺産協議会になります。国からの補助金もこの協議会に入ってくる仕組みです。その最初の会議を6月2日に市役所で開催いたしましたので、後ほど担当部長から詳細の説明をいたします。

2点目でございますが、6月定例会が先週終わりました。一般質問で8人の議員から教育関連の質問がございました。これについても各所管の部長から説明をさせていただきます。私からは以上でございます。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 それでは資料2をご覧ください。「伊勢原市日本遺産協議会の設置について」という資料でございます。

1の協議会の設置趣旨ですが、日本遺産を生かした地域活性化に向けた取組を展開するに当たっては、広範な御意見や地域の実情等を考慮して進める必要があるといったことがございます。また、日本遺産の認定に伴い、市や地域の団体で構成する協議会等を設置して地域活性化に向けた取組を行う際には、文化庁からその協議会等に対して補助金が交付される仕組みとなっていることも設置の趣旨でございます。

2の実施事業の目的ですが、本市固有の歴史・文化を物語る日本遺産を通じた文化遺産保護、観光振興、まちづくり等を行うことで地域の活性化を図ることでございます。

3の実施する事業でございますが、資料の(1)から(4)に記載した内容等でございます。

4の構成メンバーですが、20の団体で構成させていただきました。裏面に名簿を付けておりますが、20名の委員で構成しております。会長は高山伊勢原市長、副会長は伊勢原市文化財保護審議会の鈴木良明会長と、産業能率大学の斉藤

進教授でございます。資料の下の方にオブザーバーとして、市の関連部署として経営企画課、広報広聴課、商工観光振興課、都市総務課も入っていただき、それぞれの課長に出席していただいています。また、取組が広範に渡っていきますと近隣市との関係も必要ですので、厚木市、秦野市のそれぞれの観光セクションの課長に御参加いただいております。事務局は教育長以下、担当部長の私と文化財課で承るとい形でございます。

第1回目の協議会ですが、6月2日の木曜日に開催いたしました。議事の内容でございますが、発足後第1回目ですので、まず1点目として役員の選出を行いました。2点目として平成28年度事業計画及び収支計画です。既に文化庁に提出した具体的内容について御承認いただいた次第でございます。収支計画では、文化庁への要望額として5,400万を超える額を計上してございます。

今後の予定でございますが、現在、文化庁に補助要望書を提出し、補助額の決定を待つ状態でございます。補助額の決定後は、協議会で承認された取組について優先順位を見きわめながら順次実施していく考えでございます。

なお、具体的な事務処理といたしまして、現時点で協議会は独立した団体でありますので、協議会独自の内規を作成しているところでございます。具体的には、協議会で支出する際の伝票類や台帳類などを作成する必要があります。

最後になりますが、今週の金曜日の7月1日に文化庁等が主催します「日本遺産サミット in 岐阜」が岐阜市で開催され、そこで正式な認定証の交付、またあわせて各地域の日本遺産の展示ブースが出展されます。今回は、昨年度の認定18件と、本年度の19件を合わせた37件の日本遺産のブースが出展され、当然ながら伊勢原市も出展をさせていただき、伊勢原市をPRしてまいりたいと考えてございます。私からは以上です。

○学校教育担当部長【大高敏夫】　　続きまして、市議会6月定例会一般質問答弁の概要について説明をさせていただきます。資料3をご覧ください。

まず1番の前田議員です。(1)大山小における外国語教育の取組状況についてということで、大山小の1年生から4年生までの外国語活動、それから5・6年生での英語科の授業のことを答弁いたしました。また、大山小学校の特徴として、英語の免許を所有する中学校教員とALTがほぼ全ての外国語活動、英語科の授業に配置されている様子を答弁いたしました。(2)大山小のモデル事業の成果ということで、英語を使ったコミュニケーションに意欲的に取り組んでいる状況や、中学校の英語学習にスムーズに取り組んでいる状況等を答弁いたしました。最後に(3)大山小のモデル事業を今後の市全体の英語教育にどう生かすかといった御質問ですが、平成32年度に全面実施となる3・4年生の外国語、5・6年生の英語科の授業について、小学校の英語教育に向け他校の参考になりますので、今後の英語教育の準備に役立てていきたいという答弁をいたしました。

前田議員については以上でございます。

○教育部長【谷亀博久】　　続きまして2番の相馬議員です。相馬議員は、4月におきました熊本地震を受けまして、本市の防災対策について御質問がありました。その中で、避難所となります学校施設の安全対策の御質問がありましたので、

教育委員会で答弁いたしました。避難所であります小中学校の構造体の耐震化については、平成22年度をもって全て完了していることや、天井、照明、外壁、内壁、ガラス等といった非構造部材の対策の重要性がクローズアップされているということ。また、学校の取組についてですが、平成24年度から文科省が作成した学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブックに沿った点検を年1回実施していくと。その他の取組として、体育館の照明をLEDの照明に交換し、重量のある昇降装置のついた古い照明を撤去したことや、窓ガラスの飛散防止フィルムの張り付け、古いスチール製サッシのアルミサッシへの交換など、対策を進めていると答弁いたしました。以上です。

○学校教育担当部長【大高敏夫】　　続きまして3番の橋田議員の質問です。障害者差別解消法の施行に伴い、学校現場ではどこまで合理的配慮ができるかといった御質問です。合理的配慮については、一人ひとりの障害の状態や教育的ニーズ等に応じて個別の対応を考えていくということで、本人・保護者と話し合って合意形成を図ることが重要だと答弁いたしました。

障害者差別解消法の施行前と施行後における対応の違いについてですが、これまで同様に適切に対応していく支援教育を行っていくと答弁いたしました。

今後の取組については、まずはこの法律を教職員に対し周知徹底し、それから児童生徒、保護者に対して法の趣旨の理解の促進に努めていくといった答弁をいたしました。

続いて4番の八島議員です。まず、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの専門性の違いについてという御質問で、スクールカウンセラーは心理の面から問題改善に向けた支援を行う専門家、スクールソーシャルワーカーは教育と福祉の両面に関する知識・スキルを持った専門家であると前置きし、その違いについて答弁いたしました。それから本市の現在の配置人数として、県教育委員会から派遣されている方が1名、市で配置している方が1名、合計2名で対応しているといった現状と課題について答弁をいたしました。教職員とこのスクールソーシャルワーカーが連携し、学校、家庭、あるいは本人を取り巻く環境に継続的にかかわっていくことが重要ですという答弁をさせていただきました。

続きまして、5番の米谷議員です。大きく2つの発言の主題がございました。1つは地域防災計画についてです。その中の再質問で、学校では火山に関して知識面でどのような学習を行っているのか。また、火山防災対策についてどのような指導を行っているのかという御質問でございました。小学校6年の理科と中学校で火山活動についての学習をしていますとお答えしました。火山に対する防災対策については、小学校では5年の社会科において、国、県等が行っている災害対策の取組について調べ学習を中心に行っていますと答弁いたしました。

続いて発言の主題2の小学校給食の安全についてですが、給食室の調理器具と調理環境について御質問がございました。まず調理器具の更新の時期はどうやって決めているのかという御質問ですが、調理器具のトラブル等の報告や学校給食連絡会からの各学期の報告、学校教育課の学期ごとの巡回によりその状況を把握し、更新の必要性を判断していると答弁いたしました。

調理環境の特に暑さ対策の現状と対応策ということですが、平成16年に建替えを行った比々多小学校の給食室にはエアコンがありますが、その他の給食室は換気扇のみの対応であり、給食調理従事者が個人的に水分補給や冷気を感じるものを身につけるなどして対応している状況をお話ししました。また、衛生管理状況につきましては、学校給食衛生管理基準に準じて衛生管理を行っていますと答弁をいたしました。米谷議員については以上でございます。

○教育部長【谷亀博久】 それでは6番目の宮脇議員です。公共施設の今後の在り方についてということで、3月に策定されました公共施設等総合管理計画に大きな方向性が位置づけられています大田ふれあいセンターと大田公民館の統合についてで、3月議会に引き続いての御質問でございます。

まず、機能統合に対する地域住民や両施設利用者への説明の予定について伺いたいということでございました。現段階では具体的なスケジュールは決まっていますが、統合後の施設の運用方法や利用者への影響を少なくする方策等の具体的な内容を提示できる段階において、丁寧に説明していきたいと答弁いたしました。また、今までに出された地域住民や両施設利用者の意見ということで、利用者からは、統合後もこれまでと同じような活動ができる場を確保して欲しいということと、自治会からは、地域活動を推進する公民館機能、社会教育機能がなくなってしまうのではないかとといった心配をする意見があるという答弁をいたしました。宮脇議員からは、地域住民や利用者の意見をよく聞きながら検討して欲しいという御意見がありました。

もう1点、受益者負担の関係です。こちらにつきましても3月議会でも答弁申し上げているのですが、社会教育委員会では、経費の一部を負担してもらうことは止むを得ないという意見が出されておりますが、利用内容によっては減免の仕組みづくり、また他の公共施設との整合性を図ることが必要だという意見が出されていることをお話しし、今年度中に策定されます公共施設の使用料設定に関する基準を踏まえ、公民館の果たす役割なども踏まえながら今後検討していきたいと答弁いたしました。

続いて7番目、川添議員です。こちらは小中学校へのエアコン設置についての御質問です。まず、エアコンの設置状況でございます。現在の市内の小中学校のエアコンの設置状況ですが、職員室と保健室についてはエアコンが整備されております。現在はパソコン室への整備を進めているところで、中学校では全校、小学校では10校中7校で整備が終わっていることをお話しいたしました。

今後の施設整備の考え方として、児童生徒の安全安心の確保を最優先し、次に老朽化対策を考えていること。現在は校舎の老朽化対策として外壁や屋上防水の修繕と、要望の多いトイレの改修に積極的に取り組んでいることをお話しし、一方で、暑さ対策も必要であると認識していますので、パソコン室へのエアコンの設置を進め、その後は図書室への整備を検討しているといった答弁をいたしました。

川添議員からは、子どもの教育環境を保证するため、1日も早く整備を進めて欲しいとの意見がありました。

○学校教育担当部長【大高敏夫】　　続きますして8番の小山議員です。中学校給食の実現に向けてということで、まず中学校給食の意義・役割についてということで、給食を食育の一環として位置づけ、食に関するさまざまな知識や情報を学ぶ機会として捉えていると答弁いたしました。（2）導入検討の進捗状況についてということで、情報収集、先進自治体の視察を行っていることを報告させていただきました。（3）実施方式の具体策と諸課題ということですが、大きく4つ、自校方式、親子方式、センター方式、デリバリー方式について、その利点、それから課題等について答弁いたしました。

小山議員からは、子育てしやすい教育環境づくりや子どもの貧困対策の観点からも、市民の声を聞きながら中学校給食の早期導入をお願いしたいといったような意見がありました。以上でございます。

○委員長【渡辺正美】　　それでは、これまでの件に関しまして、御意見、御質問などお願いしたいと思います。

○委員【菅原順子】　　6月市議会定例会の一般質問に関して、2点ほど質問したいのですが、1つ目は橋田議員の障害者差別解消法や合理的配慮について、教職員に対する周知徹底とありますが、それについての何か具体的な研修会等の予定はあるのでしょうか。最終的には先生方が児童生徒に伝え、皆がそういう意識を持たなければならないと思いますので、先生方に対する研修は非常に重要ですので、先生方の研修がどのようになっているのか伺いたいと思います。

もう1つは、米谷議員の火山のことに關してですが、この辺りの火山ということ箱根になると思うのですが、箱根について社会科や理科の授業の中で詳しい勉強、調べ学習などが行われていると思うのですが、箱根についての学習内容をお伺いします。

○学校教育担当部長【大高敏夫】　　まず障害者差別解消法についての教職員に対する研修ですが、この議会が始まる前に既に定例校長会や自主校長会の場において障害者差別解消法について話をし、各教職員に周知徹底の依頼をするとともに、これに関連する研修の場を設けますので、是非参加していただきたい旨依頼しているところです。また校内で職員がお互いに研修内容を報告してもらうようお願いをしております。詳しい研修等については、これから指導室、教育センターで検討しながら進めていきたいと思っております。

それから箱根についての学習ということですが、箱根方面へは社会見学等で、各学校が結構行っております。ただ現在は行ける場所が制限をされている状況の中、安全を配慮しながら行っております。事前に箱根自体や火山に対する学習をした上で、見学に行っております。

○委員【菅原順子】　　何年生が行っているのですか。

○学校教育担当部長【大高敏夫】　　主に5年生です。

○委員長【渡辺正美】　　他にいかがでしょうか。

私から2点あります。一つ目はスクールソーシャルワーカーについての議会でのやりとりの中で、県から1人派遣され、他に市で1人配置しているということですが、もう少し具体的な説明をお願いします。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 県費の方は週1日ですが、実際には月に3回程度になってしまいます。

○委員長【渡辺正美】 1回あたりの時間は何時間ですか。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 7時間45分です。

○委員長【渡辺正美】 1日いられるということですね。市の方はどうですか。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 週4日になります。

○委員長【渡辺正美】 こちらも1日勤務ですね。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 はい。県費の方は、基本的には比々多小学校を拠点とし、市費の方は教育センターを拠点として学校の要請に応じているところですよ。

○委員長【渡辺正美】 ありがとうございます。

それからもう1点、小中学校へのエアコンの設置について、優先順位をつけながら進めているということですが、先ほどの給食室の話の中で、調理室の環境について、夏は大変暑くなるのが想像に難くないのですが、調理室へのエアコンに対する考え方が答弁では触れられていないのですが、何か考えはあるのですか。

○教育部長【谷亀博久】 確かに夏の給食室は非常に暑くなることは承知しておりますが、今のところ具体的な計画はございません。施設が新しい比々多小学校の調理室にはエアコンが設置されています。ただ、調理員控え室にエアコンを設置しておりますので、そこで上手く調整していただいているような状況でお願いしています。

○委員長【渡辺正美】 児童生徒はもちろんのことですが、学校に関わっている人たちの健康、安全も考慮する必要があるのかなと思いました。

○教育部長【谷亀博久】 既存調理室への物理的な取付けが可能かどうか、また効果はどうかなどの検討をしていく必要があるのかなと思えます。

○委員【永井武義】 前田議員の一般質問に関連してですが、私も大山小学校の英語の授業を2回見学させていただきました。とてもリズムカルにコミュニケーションをとるような形で英語の授業が行われ、楽しい授業づくりだなと感じました。こういう形で進めていけば、32年度の小学校英語の導入に向けて良い方向にあるのかなと思っております。

また、中学校の授業参観で何度か英語の授業を見たのですが、我々が30年以上前にやっていた英語の授業とは大きく変わり、本当に英会話をするようなコミュニケーション力を高める授業だなと感じています。一方で、生徒に話を聞くと、単語の発音が分からない学力の低い子が非常に多いと感じました。教科書で単語表記の後ろに発音の記号がありますが、その読み方というか、発音の仕方について、授業では学習しているのでしょうか。生徒から読み方がわからないという話をよく聞きますので、その辺りを質問させていただきます。

○指導室長【石渡誠一】 授業では、聞くこと・話すことといったコミュニケーションだけではなく、書くこと・読むことという学習もあります。現在は、話すこと・聞くことの言語活動の比率が以前よりも若干増えているということだと思いますが、各学校でも工夫をして読んだり書いたりする力をつけさせる授業を

しています。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 中学校の英語の授業では、もちろん発音の仕方の勉強も実施していますが、苦手な子もいます。そういった生徒に対しては、授業以外の時間や夏休みなども利用しながら補習等という形で支援しているのが現状でございます。

○委員【永井武義】 我々大人が授業参観で英語の授業を見ると、楽しそうに見えるのですが、一方で学力が追いつかない子どもたちがいるという現実がありますので、小学校英語の導入にあたっていろいろと工夫をしていただければと思います。ありがとうございました。

○委員【重田恵美子】 先ほどのスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーのことですが、比々多小学校を拠点としてという説明がありましたが、どのように活動しているのでしょうか。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 比々多小学校の卒業生のほとんどが山王中学校に入学しますので、比々多小、山王中を中心にかかわっていただいています。その他の学校を市費の方にみてもらっています。

○委員【永井武義】 日本遺産協議会についてですが、今回は第1回目の協議会ですので、役員を選出ですとか、取組内容の計画の承認ということだったと思うのですが、会議の中で、委員さんの中から何か今後に向けた特筆すべき意見がありましたか。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 全体的には、やはり日本遺産を生かしてまちを盛り上げていこうといったお話しでした。ただ、留意しなければならないのは、平成大山講プロジェクトが先行して認定されており、商工観光振興課の方で取組を既に進めております。日本遺産の方が後追いになりますので、日本遺産に伴う取組の実施にあたっては、平成大山講プロジェクトと取組が重複しないよう調整を図っていきたいといったような説明を私の方からさせていただきました。委員の中には、平成大山講プロジェクトの委員もやっておられる方もいて、重複する部分もあるのではないかとといった御意見も出ましたので、その辺りは考えていかなければならないと思います。

一方で、ホームページに関して、双方のホームページで重複しないようにするだけではなく、重複したとしても双方のホームページでPRすれば、相乗効果が生まれるのではないかとといった御意見も出るなど、ケースによるのかなと感想を持ちました。

○委員【永井武義】 ありがとうございました。

○委員【菅原順子】 今のお話を聞いていると、やはりコーディネーターがいたほうがいいと思います。各面でいろいろなことをやり、また、アクセスする側もいろいろなことにアクセスできるのもいいとは思いますが、一段高いところから見てまとめる人がいないと同じことをあちこちでやり始め、後から始めた方に注目が集まってしまうようなこともありえますので、地道にやっている人たちを拾い上げるようなコーディネーター的な存在が必要だと思います。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 ここで日本遺産協議会が発足しましたが、

元々、平成大山講プロジェクトにも委員会があり、商工会があり、観光協会があり、大山観光振興会があり、比々多観光振興会があるとといったように、市内には様々な組織がありますが、やはり菅原委員がおっしゃるとおり、大所高所でコーディネートする人がいないと、なかなか効果的には進まないのではないかという部分があります。現時点で頭の中ではコーディネーター的な存在を思い描いているのですが、具体的にこのような形で設置しようといった動きまでには至っておりません。

一方で、文化庁では、日本遺産協議会の自立というものを促しつつあります。現時点の情報ですと、国の補助金は3年間と聞いています。その後補助金が無くなった後でも協議会を継続してもらいたいということで、自立を促すような指導がなされています。

○委員【重田恵美子】 今後、協議会は、定期的に会議が開催されるのですか。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 はい。

○委員【重田恵美子】 そういった会議の中で、今後の大山のあり方や、特産物、農産物をどのように開発していくのか、どういう商品をつくっていくかといったアイデアを出し合い、意見をまとめていく役割の存在は必要かなと思います。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 はい。そのとおりだと思います。

○委員長【渡辺正美】 私からも1点あります。日本遺産の協議会が発足し、事務局が教育委員会に置かれていますが、実際には様々な部局がかかわっていませんので、その辺のところを踏まえ、ここ2～3年のうちに確実に組織立った体制をしっかりと作り上げておく必要があります。補助金が無くなった後にどのような形で運営していくかといったことは大変大事なことです。協議会の人たちを含めて共通理解を持って作っていく必要があると思います。

○歴史文化推進担当部長【山口譲】 委員長がおっしゃっていただいたとおり、市全体で向かう方向と取組内容をまとめていかないといけません。例えば商工観光振興課での取組、都市総務課でのまちづくり、この協議会での取組等を1つの計画にまとめておかないと情報共有も図れないだろうと思います。

○委員長【渡辺正美】 ほかにいかがでしょうか。

----- ○ -----

その他事項

○委員長【渡辺正美】 その他事項で、各委員から何かございますか。

○委員【永井武義】 特にございません。

○委員長【渡辺正美】 では、事務局からお願いいたします。

○スポーツ課長【小巻宏幸】 それでは、3のその他事項に入らせていただきます。(1)から(3)までスポーツ課が所管しておりますので、それについて御報告させていただきます。

(1) チャレンジデー2016の結果について報告いたします。去る5月25日、水曜日に開催いたしました住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー伊勢原2016」では、多くの地域の住民の方々、また企業、学校関係者の方々に多数御参加をいただきました。結果については、本市の参加者数5万3,863人、参加率53.1%に対しまして、対戦相手の大牟田市は、参加者数8万1,863人、参加率68.7%で大牟田市の勝利となりました。この結果を受けまして、チャレンジデーのルールに基づき、大牟田市の市旗を庁舎のメインホールに5月26日から1週間掲揚いたしました。目標の参加率60%には届きませんでした。50%を超えましたので、笹川スポーツ財団より金メダルが授与されます。今後も、このようなイベントを活用しまして、市民の健康意識の向上、地域や企業におけるスポーツを通じたまちの活性化や健康づくり、体力づくりに向けたきっかけづくりを行ってまいりたいと考えております。

続いて(2)第46回伊勢原市総合体育大会の開催について報告いたします。資料5をご覧ください。既に5月12日から少林寺拳法を皮切りに、11月27日まで15種目による伊勢原市総合体育大会が開催されます。7月3日の日曜日に市体育館において、9時から総合開会式を開催させていただきます。既に委員の皆様には開会式の案内状を送付させていただいております。よろしく願いいたします。

続いて(3)小学校プールの開放の実施について、報告させていただきます。資料6をご覧ください。今年度におきましても、大山小学校をはじめ市内10小学校のプールを7月23日の土曜日から開放いたします。成瀬小学校を除く9校は8月4日の木曜日まで、成瀬小学校は8月28日の日曜日まで開放いたします。時間は午前10時から12時と、午後は1時から3時30分までとなっております。3年生以下の児童については保護者同伴となります。監視については、業務委託をしておりますが、職員も1日1回は必ず巡回指導を行いまして、安全安心なプール開放を行ってまいりたいと思っております。

なお、このチラシは各小学校に配付をお願いいたしまして、保護者の方へお渡しいただくような手はずをとっております。以上でございます。

○指導室長【石渡誠一】 続きまして平成28年度夏季休業中の教職員研修等についてです。資料7をご覧ください。表が指導室で実施する研修会等で、裏面は教育センターが実施する研修でございます。まずは指導室から説明させていただきます。

今年度も夏季休業中に各種の研修を計画させていただきました。主なものとしましては、4番にあります伊勢原市新規採用教員等宿泊研修会でございます。今年度もこの研修会については日向ふれあい学習センターで宿泊研修として実施いたします。昨年度から同日開催である教育センター所管の20年次研修とタイアップして、講義の中に20年次のベテランの先生から学ぶ機会を設けました。

また、例年文化財課の職員にも講師を依頼し、伊勢原の歴史・文化について現地で学ぶ機会を設けており、現在、研修内容を検討しております。他は資料に掲載のとおりでございます。指導室からは以上です。

○教育センター所長【本多由佳里】 では裏面をご覧ください。続きまして教育センターの研修を紹介いたします。まず、今、室長の話にもありましたが、通し番号4、5、6番は、20年次教職員等による企画で、新採用研修とのタイアップに加え、中地区の教職員を対象とした講座の企画も行っております。今年度は、4番にもあります「祝・日本遺産認定」などといったタイムリーな内容、それから6番は、日本で唯一のチョーク製造会社である日本理化学工業株式会社の会長の大山氏をお迎えし、雇用者の7割が障害者という会社の話の伺い、障害者への理解を深めたいと考えております。また8番は、例年行っております教育センターの研究発表会と講演会です。今年度の講師は横浜国立大学名誉教授の高木先生をお迎えして、次期学習指導要領を見据えた授業の在り方についてお話しをいただくことになっております。後日、御案内させていただきます。

また、11番、13番、16番ですが、特別支援教育にかかわる担当者の研修会、担当者会があります。その中で、先ほど菅原委員からもお話がありましたが、障害者差別解消法の施行を受け、直接子どもたちにかかわる教職員、介助員へも理解を深める予定でおります。以上です。

○指導室長【石渡誠一】 続きまして資料8をご覧ください。平成28年度第50回神奈川県中学校総合体育大会の大会日程についてです。資料には伊勢原地区大会の日程、中ブロック大会の日程、そして県大会の開会式の日程をお示ししております。伊勢原地区大会は今週末の7月2日の土曜日から17日までの期間で、種目ごとの日程と会場で実施いたします。水泳競技と陸上競技は記載のとおり別日程でございます。市内大会で上位の学校や選手は、原則、中ブロック大会に出場いたします。7月17日から24日にかけて実施をいたします。こちらも水泳競技は別日程です。

なお、伊勢原地区大会の会場は主に市内の中学校ですが、柔道競技は市の体育館、陸上競技大会は秦野市との共催で実施し、秦野市中央運動公園の陸上競技場で実施します。またサッカー競技では、産業能率大学の好意でキャンパス内の人工芝のグラウンドを2日間利用させていただきます。以上でございます。

○教育総務課長【古清水千多歌】 次回の7月定例会につきましては、7月26日の火曜日、午前9時30分から市役所3階の第二委員会室において開催いたします。以上です。

○委員長【渡辺正美】 その他事項について、何かございますか。

○委員【永井武義】 ただいまの資料8の説明に関連したことで伺います。いよいよ夏の中学校の総合体育大会が始まるということで、生徒たちも部活動に一生懸命励んでいると思うのですが、市内4中学校の中で、各種目がありますが、その時代によってテニスが人気だとか、サッカーが人気だとかあると思うのですが、実際に4校全てにない競技とか、今少なくなりがちな競技というのがあれば、その辺のところを教えていただければと思います。

○指導室長【石渡誠一】 実際に伊勢原地区で行われる種目の中で4校そろっていないというものは、柔道については山王中学校と伊勢原中学校のみです。あとは基本的には4中学校、男女で有る無しはあるかもしれませんがそろっていま

す。なお、ソフトボール、バドミントン、体操、新体操については、市内の中学校にはございません。

○委員【永井武義】 ありがとうございます。

○委員長【渡辺正美】 よろしいでしょうか。

それでは、本日の教育委員会議はこれをもって閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

----- ○ -----
午前10時36分 閉会

《会議配布資料》

- 資料 1 : 平成28年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会・研修会
- 資料 2 : 伊勢原市日本遺産協議会の設置
- 資料 3 : 市議会6月定例会一般質問答弁の概要
- 資料 4 : チャレンジデー2016の結果
- 資料 5 : 第46回伊勢原市総合体育大会の開催
- 資料 6 : 小学校プール開放の実施
- 資料 7 : 平成28年度 夏季休業中の教職員研修会等
- 資料 8 : 平成28年度 第50回神奈川県中学校総合体育大会 大会日程

《その他配付資料》

- ・きょういく伊勢原（第6号）※全員配布
- ・平成28年度 教育センター要覧
- ・子ども科学館ニュース Vol. 120
- ・夏休み『HAYABUSA2』フェアちらし
- ・イベント「ロボットフェスティバル」ちらし
- ・教育委員会関連主要行事一覧（平成28年6月から7月）
- ・時報 市町村教委 No.262
- ・E d u c o（No.40）